

サロン通信

第10号



R2.11.20 発行
発行元
三条市社会福祉協議会
地域福祉係
電話:0256(33)8511
FAX:0256(33)3004

ふれあい・いきいきサロンの 研修会の報告

先月の最終週の3日間で、総合福祉センター、栄体育館、下田公民館、よつてげ邸の4会場に分かれて、ふれあい・いきいきサロン研修会を開催（53サロン、104人参加）しました。

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が見込まれる中、改めて感染症防止対策を再認識していただき、安心してサロン活動を行っていただくための方法や、感染拡大などによりサロン活動ができない状況でも、健康を維持するためのヒントを紹介しました。



前半は、『サロン活動での新型コロナウイルス感染症予防対策について』と題して、三条市役所健康づくり課の保健師や地域包括支援センター下田の保健師の話を、後半は、三条と栄地区の会場では『健康はおなかから』（新潟中央ヤクルト販売株式会社様）、下田地区の会場では、『フレイル予防について』（三条市社会福祉協議会フレイル予防推進チーム）という内容で『健康講話』を聞いていただきました。



講話についての質問・回答やアンケート結果などは次のとおりです。

質問・回答

Q1 集会所が小さく、三密になりやすいが、どうしたらよいか。

A1 来る人や、その家族の行動歴がわかっている、換気、消毒などに気をつければ活動して良いと思います。

Q2 参加者の中に、コロナウイルスを危険だと思っていない人がいて困る。「マスクは暑い。」と言ってしまったがらないどうしたらよいか。

A2 『新型コロナウイルス「怖い」ということではなく、感染症について正しく理解していただき、「予防対策にご協力いただきたい。」としっかり伝えてみてはどうでしょうか（配布用のチラシをお渡しできます。）』

また、座席は正面を避け、円形やはす向かいに座るなど、工夫すると良いです。

Q3 消毒用のジェルで机などを拭いていいか。

A3 液体もジェルも、手指以外に用具の消毒に使用できません。

机などを拭く時は、できたら使い捨てのペーパータオル等を使用し、シグザグに拭くのではなく、一方向から拭くように。

Q4 消毒用の液体とジェルに効力の違いはあるか。

A4 液体もジェルも、手指消毒効果に大きな違いはないそうです。

購入の際に気をつけていただきたいのは、アルコール濃度が低すぎると効果が薄れるので、アルコール濃度が70%以上、最低でも60%以上のものを選択して下さい。

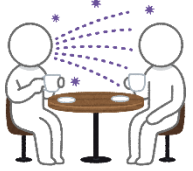
1回の消毒は、手全体に消毒液がいきわたり、乾くまでに20秒以上かかる量が適量とされており、それより短い時間で乾いてしまう場合は量が少なく、もっと長い時間が乾かない場合は量が多いでしょう。



Q5 濃厚接触者の定義は。

A5 定義

【接触の時期】
発症の2日前から
入院等をした日まで。



【接触の内容】

必要な感染予防策（マスクなど）をせず、1メートル程度の距離で、感染防止策なしに15分以上接触があった場合。
※15分間、感染者と至近距離にいたとしても、マスクの有無、会話や歌唱など発生を伴う行動や、対面での接触の有無など、『三密』の状況などにより感染の可能性は大きく異なります。
※厚生労働省のホームページから

アンケート結果

(97人回答)

研修会の内容について

- ・とても良かった：44人
- ・良かった：44人
- ・ふつう：6人
- ・良くなかった：1人
- ・不明：2人

アンケートの中で、いろいろな感想やご意見をいただ

きましたので、その一部を紹介いたします。

感想・ご意見

● サロンの再開については、かなりスタッフ間でも意見があり、いろいろ悩んだところですが、他のサロンの方々も大変であることが分かり、同じだと感じ少しホッとしました。

● 新型コロナウイルスを恐れるのではなく、正しく判断して皆様と楽しくやっていきたいと思っています。

● 安全対策には気をつけていますが、今日の講話を聞いて、もっと安全な環境に心掛けて楽しもうと思いました。

● 今日のおなかの話は、とても良かったです。

● フレイル予防について、大変参考になりました。

● フレイル予防のお話を、サロンでお聞きしたいと考えています。

● 成功しているサロンの話をお聞きしたい。

● いろいろなサロンの話を少

し聞きたかった。

● 健康や認知症について、詳しく知りたい。

レクリエーション

用具の貸出

研修会で体験した『スカットボール』を、皆さんとやってみたいと『芹山ふれあいいききサロン』の方から依頼があったので、早速説明がてらお邪魔してきました。

初めは皆さん遠慮をされていましたが、ひとりふたりと体験していくうちに、「やっぱり私もやってみようかなあ。」と挑戦され、試合をする頃には積極的になり、皆さん楽しんでられました。

「たまに違うことするのもいいね。」スタッフの皆さんも、喜んでくださいました。



また、新しい生活様式に対応した貸出用具「モバイル書画カメラ（実物投影機）」を購入しました。ぜひ活用ください。



助成金の取扱いについて

『新型コロナウイルス感染症の影響下におけるふれあい・いきいきサロン助成金の取扱いについて』を研修会で説明しました。

ご不明な点がありましたら、お問い合わせください。

編集後記

当会では、9月からツイッターを始めました。いろいろな情報を発信していますので、ぜひご覧ください。(W)

